

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日時	平成16年10月20日(水) 5校時
場所	中学校2年生教室
対象	第2学年 男子5名 女子4名 計9名
指導者	佐藤修司 岡房子

- 1 単元名 ふるさと柳沢に学ぶ ~ 柳沢の自然・人・文化に学ぶ~ そばづくり
- 2 単元について

【教材観】

この地域では古くからそばが栽培され、現在も学校周辺で多くのそば畑をみることができる。したがって、そばづくりは本校生徒にとって、地域の自然・歴史・文化との中で生きてきた人々を学ぶのによい学習材である。小学校では、地元の栽培農家の人から話しを聞いたり、教えてもらいながら栽培し、収穫祭では郷土料理に取り組む。中学校では、2年間の活動を通してこれを深めていく。2年間同じ学習材で活動することで、自らの活動をふりかえり、新たに課題を見つけ、深めることができるものと考えからである。

【生徒観】

生徒は、小学校第3学年から昨年まで5年間そばの栽培に取り組み、そばに関する知識をかなりたくさん持っている。個人研究や研究発表会も経験し、発表力も身につけてきた。

今年度は、昨年度までの経験を生かし、人との交流の中から問題解決力を育てようとしている。

4月と9月に行った生徒の意識調査の結果から変容の様子を見ると、「人間関係力」については向上し、「自己評価力」については低下していることがわかる。「人間関係力」の向上については、学習活動の「探る」の段階で、文献等に頼ることなく『地域の人からの調査』から解決を図らせていることが成果として現れていると考えられる。また、「自己評価力」の低下は、昨年の調査と同様の結果であり、1年間の活動を通して生徒自身に自らをしっかりと見つめ直す姿勢が身に付いてきたことと前向きにとらえたい。

【指導観】

昨年から、生徒が困難な課題にぶつかるたび、「あなたはどうすれば良いと思うか？」と問いかけ、自力で問題が解決できるよう助言をしてきた。実験が成功することや収量の増えることがそば栽培の目的ではなく、生徒一人ひとりが、活動を通してどのように力をつけていくかに重点を置いて指導を重ねてきた。「実践力」の向上を目指した昨年からの指導姿勢は、2年目の今年も持ち続けたい。

さらに、今年度は、様々な問題を解決しようとする取り組みの中から、「情報活用能力」、「人間関係力」、「表現力」の向上を図りたい。

また、総合で培った6つの力を教科に生かすことができるよう、小規模校の良さを生かし、生徒一人ひとりに目を向けた指導を心がけたい。

3 単元のねらい

- (1) ふるさと柳沢の自然やそこに生きる人々と触れ合う活動の中から，自ら課題を見付け，主体的に問題を解決しようとする態度を育てる。
- (2) そばづくりの活動を通して，必要な情報の収集・選択や発表・討論の仕方などの学び方を身に付ける。
- (3) 各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連づけ，自分の課題解決の場で役立てることができる。

4 基本構想図



いによって強調される部分が変わることを学ばせる。生徒は、この活動を踏まえて自分の研究をまとめることとなる。

本時の活動の重点は、「自分が他に最も伝えたいのはどんなことか？」を把握してからまとめの作業に取り組みさせることである。この結論が明確になれば、それをうまく説明する方法は数々見つかることであろう。それまでの時系列の資料（元ポートフォリオ）を観点を明らかにしてまとめ直す（凝縮ポートフォリオづくり）で、より価値の高いまとめかたとなるのである。

本時の指導は、まだ「まとめ」の段階の2時間目であるので、級友の活動の様子をみて参考にしたり、まとめの工夫を互いに発表し合って議論を深めたりするなど、時間をかけてじっくりと取り組ませたい。

(3) 本時の展開

段階 時間	学 習 内 容	予 想 さ れ る 生 徒 の 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導入 20 分	1. 事前学習 ・ 学び方学習 ・ カードの並べ換え	・ テキスト(P32~37)を使って、グラフや図を用いてレポートにまとめることの有用性を知る。 ・ 色や形の違うカードを並べ換えて、見え方の違いを確認する。	・ 昨年度のまとめ(画用紙)の良さも確認しておく。 ・ 示したい内容毎にまとめることの大切さを伝えたい。
展開 25 分	2. 学習課題の把握 3. レポートの構想	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 伝えたいことを明確にして 個人研究まとめのレポートをつくろう </div> ・ シートにレポートの構想を立てる。 自分が最も伝えたいこと レポートの構成(配置, 紙面)の工夫 ・ 活動の途中に , について, 発表と討議を行う。 ・ 級友の活動の様子を参考にして, もう一度構想を立てる。	・ 仮説, 内容, 方法などレポートに共通する項目を確認してから作業に入る。 ・ 進んでいる生徒のまとめ方を参考にさせる。
終末 5 分	4. 本時のまとめ 5. 学習記録表の記入	・ 本時の活動がどこまで進んだか確認する。 ・ 各自, 次時の活動を確認する。 ・ 本時を振り返って, 学習記録表に自己評価を記入する。	・ ファイルを回収して激励のコメントを入れる。

(4) 本時の評価

- ・ 並べ換える観点を明確にして、時系列のポートフォリオを凝縮させることができたか。
- ・ 図や写真などの配置を工夫し、訴えたいことを明らかにしたポートフォリオをつくること
ができる。 (シートの記入状況, ファイル整理の様子, 発表・討議の様子から)

